



笑雲café（2020.10開催）



水ふうせんDEバトル

地域×福祉起業家
地域住民との語り合いの場として始まった笑雲カフェは、今年で11年目を迎えます。笑雲カフェで語られるリアルな地域を愛する声に込めることが祥雲館の支えとなってきました。介護タクシーやサービス付き高齢者向け住宅の開設など、

新規事業の計画に至ったことも、地域の皆様の応援があったからです。祥雲館はこれからも、地域の方々の声に耳を傾け、地域の抱える問題に対して新しい福祉サービスを創り出す、地域密着の福祉起業家（福祉系ソーシャルベンチャー）として、施設の内外へ広げてゆきます。

しなやかに

新たな社会へ

一歩づつ

地域とともに歩む 祥雲館

しょう
うん
笑雲

第90号

発行：令和3年4月1日



社会福祉法人 豊悠福祉会

祥雲館

人生の学校

〒563-0101

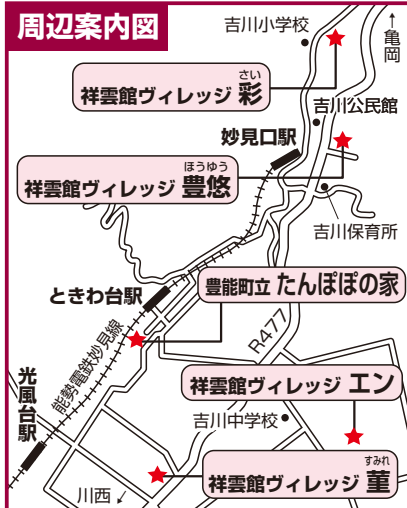
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1

TEL：072-733-2301（代表）

FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください

周辺案内図



夏イベント「水ふうせんDEバトル」(上記写真)では、はしゃぐ子供たち、一緒に水浸しになる大人や、その傍らで目を細めて観覧するお年寄りの姿。多世代が集い、楽しむ、極めて印象的な「コマ」となりました。また、令和元年に開催された祥雲館TOYONON

繋がる力

これからは、未来への繋がりが視野に入っていくかなければなりません。SDG's（国連で決議された2030年までに解決すべき国際社会共通の目標）は、世界を変えるための17の目標により構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを宣言しています。誰一人取り残さないという考えは、性差、貧富、教育環境など今

SDG's
「誰ひとり取り残さない社会を目指して」

COLLECTION（フアッションショー）は、最年少4歳～最高齢98歳という幅広い方にモデルとしてランウェイを歩いていただきました。それぞれの想いや人となり表現した装いや装飾でステージを彩りました。施設・地域・世代の垣根を超え、心を一つに繋がることできる、それが豊能町の持つ強みだと実感しています。

を生きる人々の問題はもちろん、環境保全などこれから生まれる未来の世代が抱える問題も含まれています。祥雲館も、地域に根差した活動を通してこの考えに賛同します。私たちは、豊能町の里山や棚田といった豊かな自然を美しいまま次世代へつなぎ、この住み慣れた場所でも、安心して暮らし続けるために、制度の網では届かない人々の生活をサポートします。10年、20年経っても、豊能町が魅力ある町であり続けることを目指して、地域住民と共に、この町の未来を本気で考えていきたいと思っています。

ウイズコロナの新年度を迎えて
祥雲館は、開設以来20余年、事業規模の拡大に伴い、利用者やそのご家族はもとより、地域の方との関係作りを重要視してまいりました。昨年来の新型コロナウイルス禍による行動自粛を受け、ご家族や地域の皆様にはご不便をおかけしていますが、コロナに左右されず、今できることを考え、地域の一員として進み続ける法人を目指していきます。



地域交流スペース En-GAWA

4月14日(水)より再開します!

時間短縮での再開となりますが、En-GAWAで皆様にお会いすることを楽しみにお待ちしております。

開放日 水・木・金

時

延期

会の日

常駐、になるさい。

は、感染ーシャル(参)

※コーヒー（50円）は用意しています。
必ずマイカップをご持参ください。
※駐車スペースに限りがありますので、お車での来館はお控えください。

ご寄贈のお礼

たくさんのご寄贈を賜りありがとうございました。
大切に使用させていただきます。

〈令和元年度〉

- 囲碁一式 ●ミシン (T・H様) ●家電製品
- 角皿48枚、お椀72碗 (東ときわ台地区福祉委員会様)
- リハビリパンツ、パット (Y・K様)
- 食器 ●車椅子 ●寝具、タオル (F様)
- 車椅子、衣類等 (M・E様) ●栄養補助食品他



〈令和2年度〉

- シャワーチェア他 ●栄養補助食品7ケース (N・H様)
- 手作りマスク50枚 (M・M様)
- 豊能町お買い物クーポン1冊 (利用者ご家族様)

TOPICS

★ご当地メニューの日

外出や外泊が難しい中、栄養士が毎月1日、ご当地メニューを考え提供しています。

〈1月28日 大分県〉

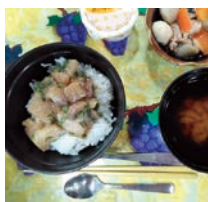
- りゅうきゅう丼 ●煮ぐい
- みかんゼリー ●赤だし・玉ねぎ

利用者さんにメニューの説明すると、「今から大分に行ってきます」と言いながら、召し上がられました。

〈2月20日 兵庫県〉

- そばめし ●明石焼き

さすが関西人！たこやきトークに花が咲きました。



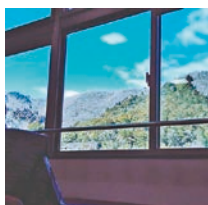
★「St.Valentine」グループホームすみぞら

みんなで大好きなチョコバナナを作りました。思い思いにデコレーションして完成です。お腹もハートも満たされ大満足です。



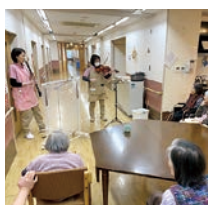
★ショートステイ・カフェ

青い空、白い雲、緑の山。フロア2階に特設のテラス席を作り、いまにも手が届きそうな早春の景色を見ながらティータイムを楽しみました。気まぐれ開店です (笑)



★特別養護老人ホーム祥雲館

施設の看護師2名がヴァイオリンとクラリネットを演奏して、各フロアをまわりました。演奏に合わせて歌い、全体が明るく、和やかな雰囲気になりました。



★「100歳の誕生日会」セカンドリビング祥雲館

100歳という長い年月の間、たくさんのお会いや別れ、数多くの経験を積み重ねられた利用者さん。ここでも、もっと楽しい思い出を積み重ねていただけたらいいよう、スタッフ一同心を込めてお手伝いさせていただきます。



私は、昨年4月、芸術系の大学を卒業し、地域福祉に関心を持ち豊悠福祉会へ入職しました。少し職場にも慣れたころ、学生時代の特技を生かして何かをしたいと思い、利用者さんと一緒にできるカードゲーム (写真) を自作しました。カードゲームは好評で、たくさんの方の利用者の笑顔を引き出すことができ、日々の生活に彩りをプラスすることができました。



小川 建瑠

新入職員が入り、後輩もできる、この1年間の経験を生かして、お互い楽しく働ける環境を築いていきたいです。
特別養護老人ホーム 祥雲館 ガーデン

ヘルパーステーション祥雲館「障がい者移動支援事業」

昨年、新たに障がい者移動支援事業を始めました。移動支援事業とは障がいをお持ちの方が、社会生活をスムーズに過ごす目的で、外出やお買い物などの支援をすることです。

現在は、当法人「グループホームすみぞら」の入居者への土日の散歩や買い物といった同行支援を主にしています。今は、コロナ禍の影響で、遠くへ外出することはできませんが、移動支援サービスの日は近づくと、「どこに行こうか」「何を買いおうか」とワクワク



クされ、その日が来るのを心待ちにされています。また、移動支援事業は、利用者一人一人の希望に沿って、プランを作成し、サービスを提供させていた

できます。外出時など、1対1で支援することにより、社会生活に必要な経験や学びの機会が増えます。それが自信になり、社会参加への一歩となるようサポートしています。

私たちは、事業

編集後記

広報担当 涌本

TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

次号は、令和3年6月25日～30日配布予定です。